

2009年度前期 機械工学実験 実施計画表

No.	実験題目	担当教員(内線)	実験室	教員室	実験班												
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
-01	水流洞による飛行体周りの渦の可視化	松井(1064)	131-3	総503	ガイダンス (全班共通)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
-02	モアレ法による計測	加藤(1606)	309	366		12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
-03	気体の流動特性	小木(1058)	154-2	257		11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
-04	画像解析	山下(1067)	317	205		10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
-05	熱伝導の数値実験	柿本(1047)	252	253		9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
-06	1自由度系の強制振動	益子(1608)	総408	共202		8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
-07	引張り試験	島村(1045)	120	227		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
-08	炭素鋼の標準組織と熱処理	藤井(1029)	221	226		6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
-09	ナノ・マイクロ硬さ試験による局所域の強度評価	吉田(1038)	158	353		5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
-10	圧縮試験およびリング圧縮摩擦試験	今泉(1043)	117	117		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
-11	光弾性実験	安田(1030)	153	362		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
-12	レーザ加工実験	酒井(1037)	125	323		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1
		実験日	機械宇宙(水)	4/15	4/22	5/13	5/20	5/27	6/3	6/10	6/17	6/24	7/1	7/8	7/15	7/22	
			機械知能(木)	4/16	4/23	4/30	5/7	5/14	5/21	5/28	6/4	6/11	6/18	6/25	7/2	7/9	
		予備日	機械宇宙：7/24						機械知能：7/16								

* 総は総合棟, 共は共通棟

** 担当教官の()内の数字は内線番号

学外から053-478-(内線番号)で連絡可

注意事項

1. 全テーマに出席し, 決められた日時までにレポートを提出し試問を受けること. レポートボックスは機械棟2階の216号室(印刷室)に設置してある.
2. 予習レポートは, 実験の目的・理論および方法を要約し, 表紙をつけて実験当日の朝8時40分までにレポート受けに提出すること(表紙及びレポート用紙はA4サイズとする).
3. 点検を受け返却された予習レポートに実験の結果・検討および考察を加えてレポートを完成させ, 次回実験日前日の朝8時40分までにレポート受けに提出すること.
4. 試問はレポート提出日の午後4時より行う. 不完全なレポートは書き直して指定の日時までに直接担当教員に再提出すること.
5. 病気等やむを得ず欠席する場合は, 予め実験担当者に連絡し承認を得て(担当者に連絡のつかない場合は指導教員や3年担当でもよい), 指定日時に補講を受けること.
6. 正当な理由なしに実験, 試問を無断欠席・遅刻した場合あるいは期限までにレポート(再提出を含む)を提出しない場合は厳格に不合格となり, 来年度に全題目について再受講しなければならない. また, 他人のレポートをコピーしたことが発覚した場合には, レポートを写した側と写された側の双方が不合格となるため, 注意すること.
7. 実験は計画表の通りに実施し, 途中で休講があっても変更しない. 休講になった題目は予備日に行う.

